

ハヶ岳だより

川崎市ハヶ岳少年自然の家
NO.53
2015. 1. 30



寒い日々が続いています。

この冬も、もう何度か雪が降りました。

去年の大雪の教訓で、今年は除雪機を新規に1台購入し備えています。まだ実力を発揮するような降雪はなく、うれしいやら悲しいやら、なんとも言えない感じですね。

またまた今年も虫のピンバッチを作り、年末年始に利用して頂いた子供たちにプレゼントしました。

今年のデザインは、王道・最強の「オオスズメバチ」です。これでピンバッチのプレゼントも3年目、3種類とも持っている方はいらっしゃるでしょうか？

来年はどんなデザインになるかお楽しみに！(またマニアックな虫にしたいと思っています)

1月5日から中学校自然教室が始まっています。

子供たちは、5年生の時から2回目の自然教室です。

子供たちから「懐かしい」という言葉がよく聞かれます。

そういえば自分も昨年、二十歳の頃住んでいた横浜市弘明寺に行ってきました。

そこには300㎡も続く商店街があり、二十歳の頃と全然変わってなくてビックリしました。

商店街のはずれにある「天華」という中華料理屋が、また、全然変わってなくて！おばちゃんも相変わらずおばちゃんだし、タンメンの味も昔のまま。

つい嬉しくて忙しくしている中、話しかけてしまいました。なにか用事でもなければわざわざ行くことはないのですが、行ってみたら当時の事を思い出して、今があるのはこの場所でのいろいろ経験したことが役立っているんだなあと感じました。

ハヶ岳を訪れる子供たちにも、何度でも遊びに来ていただき、成長し思い出を作してほしいと思います。

「スノーシューの魅力」

雪の中を自由に歩き回れるスノーシューという滑り止めの付いた西洋かんじきをご存知ですか？これを履いて歩けば、ふかふかの新雪の中でも沈み込まずにスノートレッキングが楽しめます。自然の家の主催事業ではここ数年、北八ヶ岳の縞枯山や八子ヶ峰などのスノーシュートレッキングを実施していますが大変人気があります。

本来、冬山は限られた人にしか足を踏み入れることのできない厳しい世界ですが、アプローチがよく平坦で安全な場所での楽しみ方もあるはずです。

そんな雪のフィールドで動物の足あとを追って自由に歩きまわり、普段目することのない美しい雪の造形を鑑賞できるのは素晴らしい体験です。

大人も子供も無邪気にキラキラした別世界に心を遊ばせることができるのです。

スノーシューの魅力はここらあたりにあるのではないかと思います。

この冬、自然の家ではそんな冬の楽しみ方ができるようにスノーシューを購入しました。

どうぞご利用ください。

ひとつだけ注意したいのは、出かけていく場所にもよりますが基本的には冬山です。

雪崩や気象の急変には細心の注意が必要ですし、防寒対策も十分する必要があります。

自然に対して恐れのれ気持ちを心の片隅にもって、安全には十分気を付ける必要があります。（K）



施設紹介（第1プレイホール）

センターハウス内の第1プレイホールには、八ヶ岳の自然について、楽しみながら知ることが出来るように色々な展示があります。

この展示についてですが、時々手作りのもので変えていることを知ってますか？

昨年12月にも、職員の手作りで新しく展示を増やしました。

その1つが、床に描いた動物の足跡。原寸大の大きさの足跡をたどっていくと、どの動物のものなのかわかるようになっています。足跡の形、大きさも動物によって様々です。

2つ目が『なんだコレ』の箱。中身が見えない箱が置いてあり、箱の中に手を入れて手探りで中に何が入っているか当てるものです。どんなものが入っているのでしょうか！

そのほか、冬ならではの雪の結晶をイメージした展示などなど。

自然の家に来たら、ぜひ第1プレイホールの展示を楽しんでみてください！！



（ちょっとお薦の一冊）

「めで あるく」マーシャ・ブラウン 文と写真

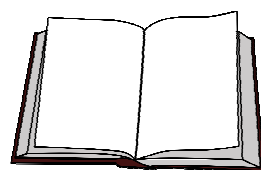
谷川俊太郎 訳

「三匹のやぎのがらがらどん」などの作者マーシャ・ブラウンによる写真絵本です。

五感を使って色々なものを発見する楽しさ、大切さが短い言葉で書かれています。

この本の抜粋を載せます。（「めで あるく」祐学社 抜粋）

めは みえる
うまれた ときから。
でも みることは—
みえることとは ちがう。
みること
それは めで あるくこと
あたらしい せかいへと。



「かたち を きく」「さわって みる」とあわせて3冊のシリーズの1冊で、長く絶版となっていました、3冊の本を1冊にまとめて出版社「港の人」から復刊されました。

スノーシューの貸出を始めました！

ご宿泊のお客様対象にスノーシューとストックをセットで貸出し致します。

幼児用から大人の方までの4サイズ、全部で60台あります。センターハウス受付でお申込みください。

他に防寒防水の長靴かスノーシューズが必要です。靴の貸出しはありませんので、ご自分でご用意ください。

数に限りがありますので、お申込み先着順とさせていただきます。

大人数の団体でのご利用希望の方はあらかじめご予約くださいようお願いいたします。

（K）



近隣施設紹介

【高原のミュージアム】

知っていますか！自然の家のある富士見町には、昔から多くの小説家、歌人が訪れています。

富士見駅近くにある富士見町コミュニティプラザ2階の博物館「高原のミュージアム」では、富士見町にゆかりのあった小説家や歌人等について、資料の展示をとおして紹介しています。

富士見町には、小説の舞台となったところもあり、堀辰雄の小説「風立ちぬ」の中にてでくる療養所のモデルとなったのが、富士見高原療養所で堀辰雄や竹久夢二など療養に来ていました。

また、駅前の旅館で歌会が行われたこともあり、この地域が伊藤左千夫や島木赤彦などアララギ派の歌人が集うところにもなりました。

そんな小説家や歌人の資料などが、「高原のミュージアム」には展示されています。

ぜひ、「高原のミュージアム」へ寄ってみてください。

なお、1階には図書館があり、実は、人口1人当たりの貸出件数が、同規模自治体の中で全国1位の図書館です。



主催事業 森の工作教室 「森の木で作るお箸とスプーン」の募集

3月のハケ岳にいらっしゃいませんか？

本格的な春まではもう少し。この時期の森を散策しながら材料になる木を探して、お箸とスプーンを作ります。

開催日：平成27年3月15日（日）9：00～15：00

日帰り 自然の家集合

内 容：木のお箸とスプーン作り

募集対象：中学生以上

参加費：お一人様 1,500円

（講習費、お昼代込み）

宿泊希望の方は、予約が必要になりますのでお問い合わせ下さい。

募集定員：20名（申し込み多数の場合抽選）

申込期間：平成27年3月5日（木）まで

申込み方法：はがきかファックスで、事業名（森の木で作るお箸とスプーン）、住所、電話、参加者氏名、年齢を記入して、少年自然の家あてお送りください。
または、自然の家ホームページ内「森の木で作るお箸とスプーン参加申込書」にてお申し込みください。



川崎市ハケ岳少年自然の家

〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原
12067-482

Tel 0266-66-2011

Fax 0266-66-2014

ホームページでも情報をお伝えしています。

<http://www.kawasaki-yatugatake.jp/>

指定管理者 （一社）富士見町開発公社

～あとがき～

1月は、数日毎に雪が降りました。そのため、敷地内のあちらこちらに雪が残っていて、宿泊されている方々が雪遊びで楽しんでいます。

晴れた日の朝は、冬らしくきりっとした寒さですが、青空と山々の景色がきれいです。夜も星が大きく輝いて見えます！

そんなハケ岳の冬の自然を味わい、日中はソリやスノーシューで楽しんでみては！（D）